

2006 年度 第 14 回 日本線虫学会大会プログラム

9月14日(木)

13:00~14:00 総会

(休憩、講演準備 14:00~14:15)

[一般講演]14:15~17:15

(座長 北上 達)

14:15 101 ○鈴木崇之・小林 透・安達克樹・持田秀之*・岩堀英晶・立石 靖・上杉謙太(九州沖縄農研・東北農研*) サツマイモネコブセンチュウが線虫抵抗性サツマイモ品種・系統の収量構成要素および外観に及ぼす影響.

14:30 102 ○立石 靖・上杉謙太・岩堀英晶(九州沖縄農研) サツマイモ品種におけるアレナリアネコブセンチュウおよびナンヨウネコブセンチュウの増殖性.

14:45 103 ○百田洋二・蔵之内利和*・高田明子*・熊谷 亨*(農研機構本部*・作物研) サツマイモはキタネコブセンチュウの非寄主か?

(座長 立石 靖)

15:00 104 ○田場 聡・澤田寿里・島袋由乃・諸見里善一(琉大農) 未利用植物を活用したサツマイモネコブセンチュウの防除と抗線虫物質の解析.

15:15 105 ○中園和年・水久保隆之*・相場 聡*・吉田睦浩*・J.T.ガスパード(ネマテンケン*・中央農研) *Hirsutella* 属寄生菌による土壤中サツマイモネコブセンチュウ 2 期幼虫の密度抑制効果.

15:30 106 ○水久保隆之(中央農研) 微生物資材と植穴くん蒸の組み合わせ処理がトマトのサツマイモネコブセンチュウの動態と作況に及ぼす影響(第 7, 8, 9 作).

15:45 107 ○清水 啓・山下伸夫・木村 聡*(東北農研*・日本エコアグロ(株))ニーム核種子粉碎物の土壌処理がキタネコブセンチュウ及びキタネグサレセンチュウ 密度及びトマトの生育に及ぼす影響.

(休憩 16:00~16:15)

(座長:水久保隆之)

16:15 108 ○杉村和実・川崎安夫(宮崎総農試) 数種植物のクマモトネグサレセンチュウ(仮名)に対する密度低減効果.

16:30 109 ○上杉謙太・岩堀英晶・立石 靖(九州沖縄農研) 九州沖縄地域キク園場のネグサレセンチュウ相.

16:45 110 ○星野 滋・富樫一巳*(広島農技セ*・東大農) 水稻に対するイネシンガレセンチュウの宿主操作.

(座長:岡田浩明)

17:00 111 ○魚 鎮宇・乙部和紀*・水久保隆之*・中元朋実(東大農*・中央農研) 微細加工基板を用いた植物寄生性線虫の走地性の評価.

17:15 112 ○荒城雅昭(農環研) 500 頭打切り全線虫識別計数法の精度とカウンタ

ーソフト「マルチカウンター」.

18:00~20:00 懇親会

9月15日(金)

[一般講演] 9:30~17:30

(座長:奈良部 孝)

9:30 201 ○串田篤彦(北農研) 緑肥の鋤込みに伴う土壌線虫相の変化.

9:45 202 ○武田容枝・岡田浩明*・宮沢佳恵**・村山 徹***・中元朋実(東大農*・農環研**・東北農研) 前作ダイズへの堆肥施用と冬作カバークロップのすき込みによる土壌線虫の群集構造の変化.

10:00 203 ○岡田浩明・長谷川 浩*・橋本知義*・浦嶋泰文*・関口博之*・門田育生*・三好孝和**(農環研*・農研機構**・西九州大) 有機農家圃場と慣行農家圃場での土壌線虫の群集構造の違い.

10:15 204 ○丹羽 慈・金子信博・岡田浩明*・坂本一憲**(横浜国大*・農環研**・千葉大) ミヤコザサへの摘葉強度に対する土壌食物網および窒素無機化速度の反応.

(座長:神崎菜摘)

10:30 205 ○長谷川浩一・二井一禎・三輪さつき*・三輪錠司*(京大院農*・中部大院応用生物) マツノザイセンチュウにおける分子遺伝学の開発.

10:45 206 長谷川浩一*・磯村和則**・三輪さつき・堤内 要**・三輪錠司**(中部大生物機能開発研*・京大院農**・中部大応用生物) オミックス解析による食品危害物質アクリルアミドの影響評価.

11:00 207 ○中平啓介・長谷川浩一**・三輪さつき*・三輪錠司*(中部大応用生物*・中部大生物機能開発研**・京大院農) 天然生薬を主成分とする合剤が線虫 *Caenorhabditis elegans* に与える影響.

(座長:植原健人)

11:15 208 ○佐藤恵利華・豊田剛己*・Yu Yu Min・白樫知明(東京農工大院生物システム応用科学府*・東京農工大院共生科学技術研究部) 定量PCRによる *Pratylenchus penetrans* の検出.

11:30 209 ○白樫知明・豊田剛己*・佐藤恵利華・Yu Yu Min(東京農工大院生物システム応用科学府*・東京農工大院共生科学技術研究院) PCR-DGGE と qPCR による線虫群集および有害線虫数の推計に向けた取り組み.

11:45 210 ○大場広輔・岡田浩明・荒城雅昭(農環研) 分子生物学的手法(PCR-DGGE)による土壌自由生活線虫の群集解析の試み.

(休憩、昼食 12:00~13:00)

(座長:岩堀英晶)

13:00 211 ○酒井啓充・久井潤也・平田賢司(横浜植防) TAF 固定した線虫1頭からのPCR法の検討.

13:15 212 ○吉賀豊司・西村謙一*・近藤栄造(佐賀大農*・西九州大) 特異的プライ

マーを用いた PCR による *Halicephalobus* 属線虫の検出.

13:30 213 ○新屋良治・渡部 愛・相内大吾・串田篤彦*・小池正徳(帯広畜大*・北農研) *Verticillium lecanii* プロトプラスト融合株によるダイズシストセンチュウ被害抑制機構.

(座長: 串田篤彦)

13:45 214 ○奈良部 孝・植原健人・伊藤賢治(北海道農研) プラスチックカップを用いたジャガイモシストセンチュウの土壌中からの検出.

14:00 215 ○豊永佳弘・吉賀豊司・近藤栄造(佐賀大農) クローバシストセンチュウの新たな培養法の検討.

14:15 216 ○相場 聡(中央農研) ダイズシストセンチュウ寄生性判別のための環境条件の検討.

(休憩 14:30~14:45)

(座長: 荒城雅昭)

14:45 217 H. Askarian・OM. Olia*・B. Sharifnabi・E. Mehdikhani Moghaddam** (Dept. Plant Prot., Agr. Coll., Isfahan Univ. of Tech.*・Dept. Plant Prot., Agr. Coll., Shahrekord Univ.*・Dept. Plant Prot., Agr. Coll., Ferdowsi Univ.) Species identification and genetic diversity of *Meloidogyne javanica* on pistachio in Kerman Province, Iran.

15:00 218 OM. Olia (Dept. Plant Prot., Agr. Coll., Shahrekord Univ.) Nematological research in Iran.

(座長: 前原紀敏)

15:15 219 ○鋤田龍星・吉賀豊司・吉田睦浩*・近藤栄造(佐賀大農*・中央農研) 日本産 *Steinernema* 属線虫から単離された *Xenorhabdus* 属共生細菌の同定.

15:30 220 ○安松良恵・吉賀豊司・早川洋一・近藤栄造(佐賀大農) *Photorhabdus* 属細菌が宿主昆虫の脳へ与える影響.

15:45 221 ○田中龍聖・吉賀豊司・近藤栄造(佐賀大農) *Caenorhabditis japonica* の耐久型幼虫の長期生存にベニツチカメムシが果たす役割.

(休憩 16:00~16:15)

(座長: 吉田睦浩)

16:15 222 ON. Kanzaki*・F. Abe・R. M. Giblin-Davis*・K. Hata・K. Soné (Fac. Agric., Kagoshima Univ.*・Fort Lauderdale Res. and Educ. Cent., Univ. Florida/IFAS*・**Present address: Forestry and Forest Prod. Res. Inst.) A *Teratorhabditis* species isolated from red palm weevil, *Rhynchophorus ferrugineus*.

16:30 223 ○ファン キーロン・二井一禎・安部布樹子*・曾根晃一*(京大院農*・鹿児島大農) 昆虫病原性線虫を用いたマツノマダラカミキリとヤシオサゾウムシ防除法の研究.

(座長: 相川拓也)

16:45 224 ○真宮靖治(元玉川大) 人為的条件下におけるマツノザイセンチュウ分散

型4期幼虫の出現.

17:00 225 ○竹内祐子・二井一禎(京大院農) 感受性宿主樹体内におけるマツノザイセンチュウ2系統の移動分散様式.

17:15 226 ○リナ スリワティ・神崎菜摘*・ファン キーロン・二井一禎(京大院農・*現森林総研) マツ材線虫病により枯死したマツ樹より分離された *Bursaphelenchus* 属線虫.

18:00~19:30 線虫を見ながら語る夕べ2
